

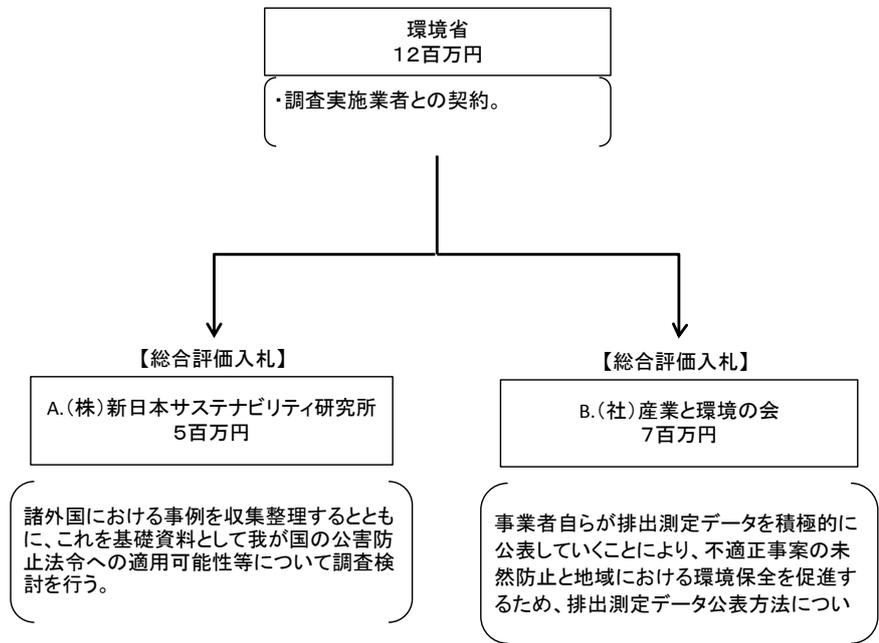
平成23年行政事業レビューシート

(環境省)

事業名	公害防止管理推進調査対策検討費		担当部局庁	水・大気環境局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度		担当課室	総務課		総務課長 粕谷 明博	
会計区分	一般会計		施策名	3-1 大気環境の保全 (酸性雨・黄砂対策を含む)			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計 画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	<p>・昨今、一部の事業者において、不適正な設備管理による排出基準の超過や公害防止管理者による測定データの改ざんが明らかとなり、公害防止に係る環境管理に綻びが生じている事例が報告されている。また、環境問題の多様化、激甚な公害への対応を担ってきた職員の退職等を背景として、事業者及び地方自治体の公害防止業務を取り巻く状況は構造的に変化している。</p> <p>・この様な公害防止対策の適確な実施の必要性が高まっている状況を踏まえ、平成21年8月、中央環境審議会に対し「今後の効果的な公害防止の取組促進方策の在り方について」を諮問し、平成22年1月29日付けで中央環境審議会「今後の効果的な公害防止の取組促進方策の在り方について」の答申が取りまとめられた。</p> <p>・これを踏まえ、事業者及び地方自治体における効果的な公害防止の取組を促進するための方策を推進する。</p>						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	<p>・事業者が自主的に積極的にかつ的確な対応を行う仕組みについて、欧米の公害防止制度や自治体における優良事業場認定制度など、国内外における事例を収集・整理する。</p> <p>・事業者自らが排出測定データを積極的に公表していくことにより、これらの情報の社会的共有を図り、不適正事業の未然防止と地域における環境保全を促進するため、排出測定データ公表方法の検討を図る。</p>						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予 算 の 状 況	当初予算	3	8	8	8	4
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	3	8	8	8	4
	執行額	3	4	12			
執行率 (%)	100	50	150				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	○定量的な成果目標は示せない。 事業者及び地方自治体における効果的な公害防止の取組を促進するための方策を推進するため。		成果実績 達成度	%			
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	○定量的な活動指標は示せない。 事業者及び地方自治体における効果的な公害防止の取組を促進するための方策を推進するため。		活動実績 (当初見込み)			()	()
単位当たり コスト	(円/)		算出根拠				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	環境保全調査費	8	4	これまでの成果等を踏まえて、必要最低限の要求とした。			
	計	8	4				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・用途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>事業者及び地方自治体における効果的な公害防止の取組を促進するため、これまでの成果を踏まえ、真に必要な事業に重点化して実施する。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>調査案件を取捨択一するなどし、要求額の減額に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>これまでの成果等に応じ、調査の一部廃止又は減額を行い、必要最低限な予算要求をすることにより、要求額を減額。</p>			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p></p>			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)新日本サステナビリティ研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	公害防止管理実施状況調査対策検討	5			
計		5	計		0
B.(社)産業と環境の会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	測定データ公表方法検討	7			
計		7	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					